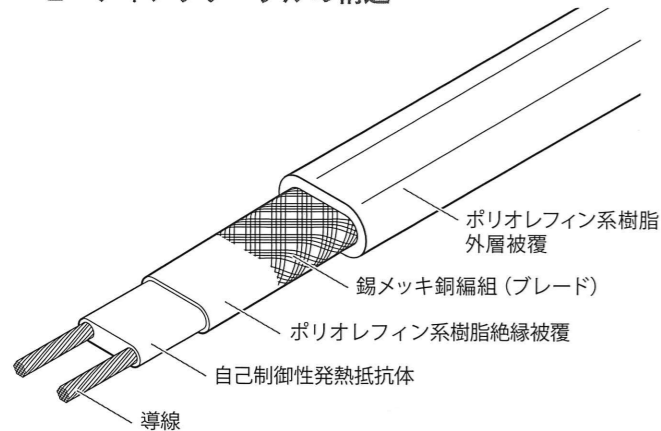


# EM2-XR



## エレクトロメルト 融雪・氷結防止用 自己制御ヒータリングケーブル

### ヒータリングケーブルの構造



\*電源接続とエンドシールは、  
VIA-CE1を必ずご使用ください。

### 製品概要・特長

レイケムエレクトロメルトはコンクリートに埋設して融雪と氷結防止に使用します。

#### 自己制御

エレクトロメルトヒータリングケーブルは、コンクリートの温度に対応して自動的に出力を調整します。このため重ね合わせによる焼損はなく、特別なコントローラなしにエネルギー効率を向上します。

#### 並列回路

エレクトロメルトヒータリングケーブルの自己制御性発熱抵抗体は、2本の14AWGの導線間に並列抵抗回路を形成しています。このためエレクトロメルトヒータリングケーブルを必要に応じて現場で長さに合わせて切断したり、接続したり修理できます。

#### 堅牢

コンクリート直接埋設専用開発したエレクトロメルトヒータリングケーブルは、錫メッキ銅編組（ブレード）とそれを覆う1.8mm厚のポリオレフィン系樹脂外層被覆で保護されています。腐食する金属部分が露出しておらず、コールドリードが無く、重ね合わせによる焼損や過熱ポイントが無い堅牢なエレクトロメルトヒータリングケーブルは、コンクリートの融雪や氷結防止用に最適なソリューションを提供します。

### 製品特性

		EM2-XR	
出力 (W/m)			
使用電圧 (Vac)	200	240	
出力 (W/m)	97	105	
寸法			
最大幅	19mm		
最大厚み	10mm		
最低施工温度	-18℃		
最小曲げ半径	50mm		

⚠ ヒータリングケーブルが損傷していたり適切に施工されていない場合に、持続する放電火花によって火災が発生する危険性を最小限にするため、さらにエヌヴェントの要求事項や電気設備技術基準等の関連法規を遵守するため、すべてのヒータリングケーブル回路に対して地絡検出装置（漏電遮断器等）を取付けてください。従来の回路保護方式ではこの放電火花を停止することができません。エヌヴェントは、電源接続、直線接続、エンドシール等の接続キットを取り揃えています。製品の正しい機能を確認し、保証や製品認証上の要求事項を遵守するため、これらの接続キットを必ず使用してください。

## 融雪・氷結防止用 EM2-XR

### -7℃の時の最大回路長 (m)

ブレーカ容量 (A)	ヒータ使用電圧 (Vac)	
	200V	240V
15	23	26
20	30	35
30	45	52
40	60	70
50	75	87

### -18℃の時の最大回路長 (m)

ブレーカ容量 (A)	ヒータ使用電圧 (Vac)	
	200V	240V
15	21	24
20	29	34
30	42	49
40	58	64
50	72	81

### 製品仕様

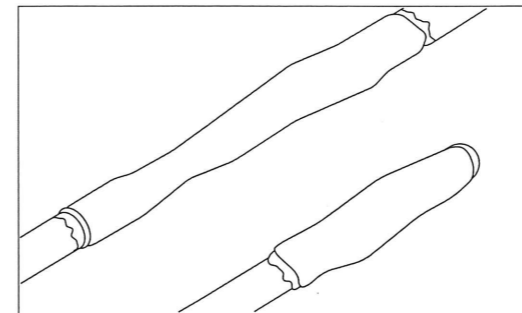
導線	14AWG
ブレード/外層被覆	1.8mm厚のポリオレフィン系樹脂外層被覆で覆われた錫メッキ銅編組
標準重量	268kg/1000m

### 地絡保護

万一ヒータリングケーブルが損傷していたり、適切に施工されていない場合、放電火花による火災被害を最小限にするために、さらに弊社の要求事項および電気設備技術基準に適合させるために、各ヒータリングケーブル分岐回路すべてに対し地絡検出装置を取付けること（ヒータリングケーブルのブレードには必ずD種接地工事を実施してください）。なお、従来の回路保護方式（配線用ブレーカ等）ではこの火花が防止できません。30mA感度の漏電遮断器を使用してください。

### 接続キット

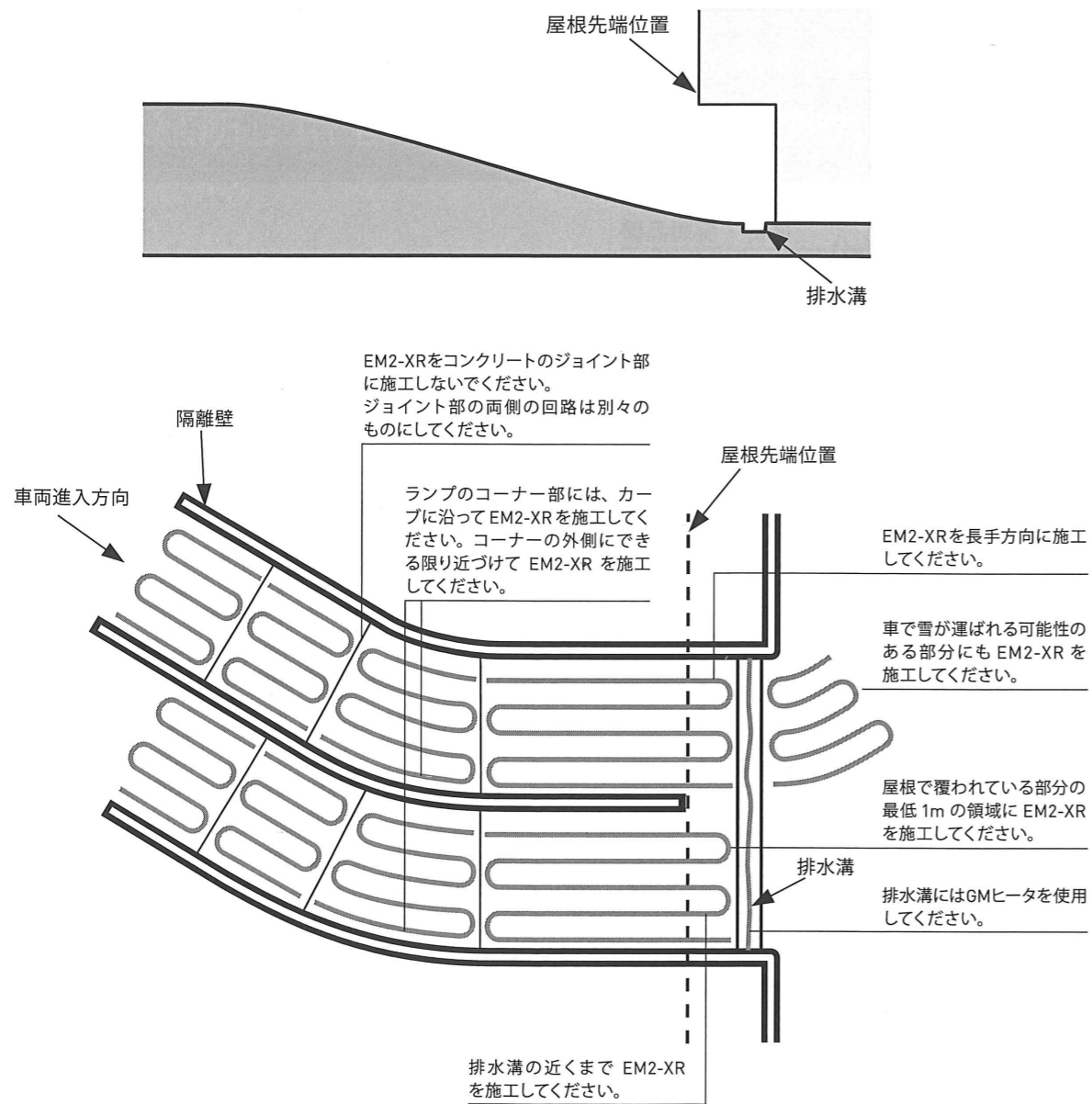
#### VIA-CE1 EM2-XR専用電源接続/エンドシールキット



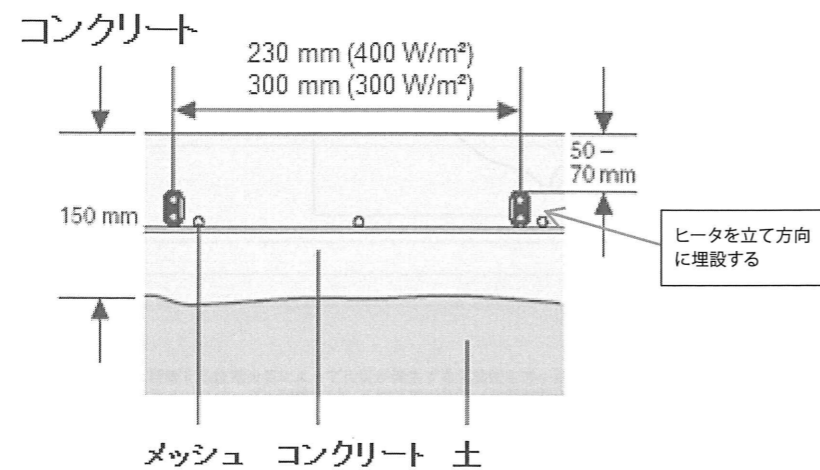
# 融雪・氷結防止用 EM2-XR

## EM2-XR 施工上の注意事項

EM2-XRを駐車場へ入るための出入口の坂になっている箇所に施工する場合の注意事項です。



EM2-XRをコンクリートに埋設する際の注意事項です。



EM2-XR をコンクリートに埋設する際は、図の通り 50mm～70mm の深さへ、ヒータを立て方向に埋設してください。  
 コンクリート表面からヒータの最上部までが 50mm 未満の場合、ヒータの熱が効果的にコンクリート中に広がらず、有効な融雪が出来ない可能性があります。

また、コンクリートの厚さは 100mm～150mm を目安としてください。コンクリートの厚さが 100mm 未満の場合、ヒータの熱によりコンクリート層の温度が過度に上昇し、ヒータの寿命に影響を与える可能性があります。